

川通信 8.6災害特集号

みずおと

29号

発行 平成20年 9月12日

編集 国土交通省 東北地方整備局

新庄河川事務所 鮭川出張所

昭和50年 真室川8.6災害の体験学習

～真室川激甚災害対策特別緊急事業完成から30年～

真室川中学校の生徒さんが参加しました!



8月6日、昭和50年に災害が起きた日にちに合わせて真室川防災ステーションにおいて実際に被災された地元の方々を講師に迎え、「真室川8・6災害体験学習」を行いました。真室川中学校の32名の生徒さんが参加してくれました。

災害は
忘れた頃にやってくる!!

激しい豪雨により真室川は
暴れ川となり町に大被害をも
たらした昭和50年の大災害
から今年で33年。そして、
その真室川災害復旧のための
激特事業完成から30年。
当時の災害状況やその後
について学び、これからの繋げ
る為に今回このような体験
学習を開催しました。

8月6日の大雨により真室川・金山川の
合流点の左岸堤防が決壊したため町中に濁流が
押し寄せ、新橋が壊れたり沢山の家の倒壊が
起きるなど数多くの被害がありました。



今の郷野目ストアの場所も
川のようになりました



新野付近(S50洪水後)

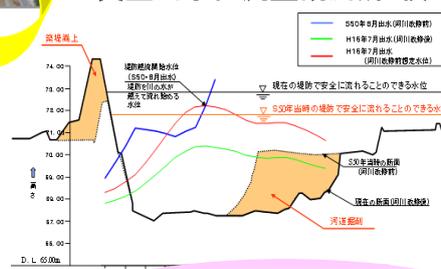


濁流で橋が流されました

新橋付近(S50洪水後)

激特事業(S50～53)で施工した 真室川地区河川改修の効果

真室川水位流量観測所 横断面図



もし河川改修がなかったらH16年の
洪水でも大きな被害が予想されました

河川改修がなかった
場合の氾濫区域



H16・7洪水の氾濫区域

改修工事で堤防を2m 高く
して、川底を広くしました。

激甚災害対策特別緊急事業とは・・・
洪水などにより大きな被害が発生した地域におい
て、様々な河川改修を短期間に集中して行い、
その後の災害被害を軽減する事業です。
昭和50年当時、真室川町が全国で初めて指定さ
れました。



真室川における河川改修の効果 (H16.7.洪水)

	(S50.8.当時だったら)	(H16.7.河川改修後)
＝ 浸水面積	64ha	→ 2.9ha
＝ 浸水家屋	188戸	→ 2戸

体験学習当日の様子・・・

真室川町長さんも参加しました！

当日は、昭和50年の真室川災害を実際に体験された井上薫真室川町長さんと、当時水防団副団長だった黒坂久右衛門さん、当時真室川営林署職員だった高橋廣明さんに色々お話を伺いました。

みなさん貴重なお話をありがとうございました

ハザードマップって
知ってる人いるかな？



自分の被災体験を話す町長さん



8・6災害って何だろう？



井上薫町長さん



真室川町の齋藤さん

当時の8mmビデオを提供して
いただきました



高橋廣明さん

実際の
8mmの映像



真室川営林署



セブンイレブン付近



旧八撒旅館、中央公民館

被災現地で当時の状況
を話す黒坂さん



黒坂久右衛門さん

体験学習の内容

- ・記録ビデオの上映
「覚えていますか真室川災害を」
- ・当時の災害の状況について
- ・復旧(激特事業)事業とその効果について
- ・「真室川防災マップ」について
- ・現地探索(真室川町内)
- ・災害体験者との座談会
災害体験者：井上薫氏
黒坂久右衛門氏
高橋廣明氏



真剣な生徒さんたち

思った以上にひどい災害だった



みんなで座談会

参加した中学生の皆さんからこのような意見がありました

- ・洪水があったことは知っていたが、映像や写真を見て思っていた以上に大きな災害でびっくりした。
- ・次の世代に伝えていくためにも、まず家族で話し合いたいと思う。
- ・復旧工事のおかげで洪水などの災害が減って良かったと思う。
全国でゲリラ豪雨が多発している今日、この体験学習はとても勉強になりました。

夏休み中にもかかわらず、参加して頂いた真室川中学校の生徒のみなさんどうもありがとうございました。
*当時の資料が欲しい方は鮭川出張所にご連絡下さい。

お問い合わせ

〒999-5203
山形県最上郡鮭川村大字川口字鶴田野 3018-4
国土交通省 新庄河川事務所 鮭川出張所 担当 鈴木・五十嵐
TEL 0233-55-3020 FAX 0233-55-3083
HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>
★「みずおと」をご覧になっての感想やご意見をお寄せ下さい。
★工事現場を見学されたい方は鮭川出張所までご連絡下さい。

